

CLUB NEWS

2017-2018年度国際ロータリーテーマ／ロータリー:変化をもたらす

国際ロータリー第2800地区 第5ブロック 山形中央ロータリークラブ 「山形中央ロータリークラブのこれまでの伝統文化を尊重して、地域の若者とともに、ちよっと社会奉仕」

〒990-0031 山形市十日町1-1-26 歌懸稲荷神社社務所ビル2F TEL(023)632-7777 FAX(023)624-5200

例会 毎週火曜日12:30～13:30(但し第5週は18:30～) 会場 ホテルメトロポリタン山形

■ 会長 奥山 宏	■ 職業奉仕 齋藤 真	■ 副幹事 本間雅之
■ 会長エレクト 中川 清美	■ 社会奉仕 朝倉 克尚	■ 会計 本間雅之
■ 副会長 伊藤 和子	■ 青少年奉仕 阿部 美春	■ S A A 今野久仁正
■ 直前会長 小泉 俊哉	■ 国際奉仕 新沼 悟	■ 国際ロータリー会長 イアン・H・ライズ(オーストラリア)
■ クラブ管理運営 玉ノ井 憲史	■ 幹事 石山 徳昭	■ 第2800地区ガバナー 鈴木 一作(寒河江)
		■ 第5ブロックガバナー補佐 須藤 吉実(山形伊仁宮)



ロータリー
変化をもたらす

◆日時／2018.6.5.12:30 ◆例会場／ホテルメトロポリタン山形 ◆ソング／国歌・奉仕の理想
◆ビジター／東京世田谷RC 島谷恵介様

会長挨拶



先日は、第三回クラブフォーラムにご出席をいただき有難うございました。テーマは、創立25周年、これからの25年を考えようでした。会員の意見にもありましたが、これから25年、何人の人が、この例会に参加できましようか？車いすでも参加したいという、熱い意見もありましたが楽しみです。参加者全員の意見もお聞きしました。そして、全員からニコニコを頂きました、誠に有難うございます。

また、今野さんが、キーマンと言う事にこだわる事も、よく理解できました。このクラブに、キーマンの方々が4人在籍されていますが、設立の御苦労を想像すると、本当に胸のつぶれる思いであります。願わくは、これから温かいご指導をお願いしたいものです。

最後に、21代からの会長経験者よりお話を頂きました、当時の会長の思いが伝わってきました。同時にその経験を共有できたことに喜びを感じています。この経験を、糧として、これからのロータリーライフを充実させていきたいと思っております。



中川清美／6/1山形GCで月例杯で優勝して来ました。BG優勝です。BG78 HC8.2 69.8アンダーでした。明日は当社のコンペです。出席する方ガンバって下さい。

丹野秀樹／昨日、6月4日は結婚記念日でした。クラブからおいしいケーキいただきありがとうございます。

奥山 宏・石山徳昭／東京世田谷ロータリークラブ、島谷恵介様の訪問に感謝し、又、本日、安藤友好

クラブ委員長、丹野友好クラブ委員による、台北永楽RCと富安小学校の再訪問について、御報告いただき、ありがとうございます。未永く友好クラブが続くことを祈念いたします。



6月 会員誕生・創立企業日

誕生日 企業創立記念日
長谷川淳 深瀬隆志 江目祐一 (株丸江製作所)

本日出席・修正出席

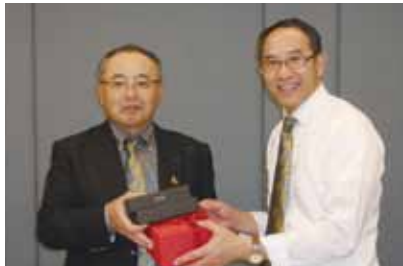
	会員総数	出席義務出席数	出席会員数	出席率
本日出席	42名	—	23名	—
修正出席	42名	33名	31名	93.94%
他クラブでメイクアップされた会員	(山形北) 柴田修英			



会員卓話
台北永楽RC富安小学校再訪問
安藤英男 会員(友好クラブ委員長)
丹野秀樹 会員(友好クラブ委員)







CLUB NEWS

2017-2018年度国際ロータリーテーマ/ロータリー:変化をもたらす

国際ロータリー第2800地区 第5ブロック 山形中央ロータリークラブ 「山形中央ロータリークラブのこれまでの伝統文化を尊重して、地域の若者とともに、ちよつと社会奉仕」

〒990-0031 山形市十日町1-1-26 歌懸稲荷神社社務所ビル2F TEL(023)632-7777 FAX(023)624-5200

例会 毎週火曜日12:30~13:30(但し第5週は18:30~) 会場 ホテルメトロポリタン山形

■ 会 長 奥 山 宏	■ 職業奉仕 齋 藤 真	■ 副 幹 事 本 間 雅 之
■ 会長エレクト 中川 清美	■ 社会奉仕 朝 倉 克 尚	■ 会 計 本 間 雅 之
■ 副 会 長 伊 藤 和 子	■ 青少年奉仕 阿 部 美 春	■ S A A 今 野 久 仁 正
■ 直前会長 小 泉 俊 哉	■ 国際奉仕 新 沼 悟 郎	国際ロータリー会長 イアン・H・ライズ(オーストラリア)
■ クラブ管理運営 玉ノ井 憲史	■ 幹 事 石 山 徳 昭	第2800地区ガバナー 鈴木 一作(寒 河 江)
		第5ブロックガバナー補佐 須藤 吉実(山形イソング)



ロータリー
変化をもたらす

◆日時/2018.6.12.12:30 ◆例会場/ホテルメトロポリタン山形 ◆ソング/我等の生業

会長挨拶



中川清美
会長エレクト

今日は、奥山会長が欠席になり代行挨拶になりました。会長エレクトになって初めての代行挨拶です。来月からは、毎週しなくてはなりません。まだ挨拶の献立を考えている所です。

まずもって、本日は金子昌弘会員の卓話を頂戴します。題名は、働き方改革と社員満足。話の中に、聞いた事のない、テレワークと言う言葉がありました。Tele(離れた場所)とwork(働く)を合せた造語だそうです。

1つは、在宅勤務=出社しないで自宅で仕事

二つは、モバイルワーク=移動中カフェなどで仕事

三つは、サテライトオフィス=所属オフィス以外他のオフィスや遠隔勤務用の施設で勤務する形態

これらを活用して高齢者や女性にも柔軟な勤務体制が可能となり、ITを活用して時間を問わず生産を高めて行けるという事でした。自分にはまだまだですが勉強になりました。

先週嬉しい時、何か報告したい時はロータリアンはニコニコしましょうですのでやったのですが、漆山君から呼んでもらえず自分で報告しました。山形ゴルフの月例でベスグロ優勝した事を言いたかったのです。

iN38、OUT40で78でした此れからもガンバルゾウ



石山徳昭・中川清美/本日の金子昌弘会員の卓話に感謝します。残すところあと2回の例会となりました。無事帰港できる様安全航海につとめます。最後まで御協力をお願いします。奥山会長の代理次年度

の練習になりました。

本間雅之/本日の金子昌弘会員様の働き方改革、社員満足のお話を聞かせていただき、大変勉強になりました。自分も働く中身を変えて、次年度幹事と両立を目指します。

金子昌弘/つたない話を聞いていただきありがとうございました。

本日出席・修正出席

	会員総数	出席義務出席数	出席会員数	出席率
本日出席	42名	—	23名	—
修正出席	42名	34名	31名	91.18%
他クラブでメイクアップされた会員	(山形西) 横川恵三 柴田修英 金子昌弘			



会員卓話 働き方改革と 社員満足

金子昌弘 会員
（株）エム・エス・アイ
代表取締役社長

最近、「働き方改革」という言葉が社会現象となってクローズアップされてきています。

大手企業的女子社員が長時間労働を強いられ自殺した痛ましい事件から、世間が注目し政府や企業が労働改革・改善しようとするその気運が高まっています。

「働き方改革」というのは、長時間労働を是正することだけではなく、我が国の労働社会の様々な問題・課題を改革していくことに他なりません。

我が国は少子高齢化がますます進み、労働人口が急激に減少していく中で、今後は働き手として高齢者や女性の活用、外国人の採用などに期待が集まっています。

このような労働社会が構築されていくには働き方の多様化と生産性の向上が求められます。「働き方の多様化」は高齢者や女性に活躍してもらうために必要であり、生産性を向上させるためにも大きな課題であります。

我が国の就業者1人当たり労働生産性はOECD加盟国の中では21位であり、1位のアイルランドの二分の一、3位のアメリカの三分の二であり、先進7カ国では最下位という状況です。労働市場においては、高齢者や女性の活躍の場はまだ少ない状態であり、外国人労働者にも聞かれた理解のある環境にはなっていません。

これらの問題・課題を解決する一つの手段として、「テレワーク」という言葉が注目されてきています。テレワークとはtele（離れた場所）とwork（働く）を合わせた造語であり、いろいろな企業や職場で導入が進んでいます。

雇用型テレワークとしては次の3つの形態があります。(1)在宅勤務＝オフィスに出社せず自宅で仕事をする形態。(2) モバイルワーク＝顧客先、移動中カフェなどで仕事をする形態。(3) サテライトオフィス勤務＝所属オフィス以外の他のオフィスや遠隔勤務用の施設で仕事をする形態。

これらを活用すれば、高齢者や女性にも柔軟な勤務形態が実現可能となり、ITを活用して場所や時間を問わず生産性を高めていくことができます。

このようなことは逐次大手企業では導入が進んでおり、我々中小企業には大分先の話のように聞こえますが、私は中小企業こそ、今現在取り組んでいかなければならない重要な課題だと思っています。

中小企業は年々採用が厳しくなっており、優秀な人材どころか数においても採用が難しくなっています。

社員の確保ができず、休みが増え実働日数が少なくなり、長時

間労働も是正していかなければならない状況が今後ますます求められてきます。量的確保ができない上に、質的にも優秀な社員の採用は厳しく、生産性においても中小企業は大企業に大きく差をつけられています。

今こそ、中小企業はこの「働き方改革」に真剣に向き合わなければならない時であります。

ここで、我が社の取り組みを若干ご紹介させていただくことをお許し願います。

我が社は東北山形のIT企業であります。年商9億円、従業員60名の中小の会社です。会社設立以来、採用活動には積極的に取り組んでおり、社員教育でも人間性・人間力を高めるためのユニークな教育を導入しています。全社員でのトイレ清掃・座禅・ラジオ体操・テレビドラマ「ルーズヴェルト・ゲーム」「下町ロケット」の全編鑑賞等。

我が社は優秀な技術者を必要としている中で、ここ数年採用には大変苦心しています。外国人採用には他の中小企業に先駆け十数年前から取り組み、現在は外国人は1名になってしまいましたが一時期4名の外国人が在籍していました。当時は地方の中小企業では珍しい存在でした。

近年、外国人留学生は大手志向になり地方の中小企業にはなかなか入社してもらえませんが、今後も積極的に外国人採用を行っていくつもりです。

また、IT企業ということもあり「テレワーク」にも積極的に取り組んでいます。

家庭の事情で退社を希望していた社員を在宅勤務させたり、県外に2カ所のサテライトオフィスを設置し、テレビ会議システム等を導入して朝礼やミーティング、を行っています。もちろん、いろいろな最近のシステムを導入し、モバイル端末を駆使して「モバイルワーク」も実現しています。

今年度の二大事業として社内「ブランディング(企業価値のブランド化)プロジェクトチーム」と「生産性アッププロジェクトチーム」を立ち上げ、社員の積極的な参加のもと、社内改革と社員の意識改革にチャレンジしております。

しかしながら、いろいろな改革を成し遂げる最終目的は「お客様満足」と「社員満足」にあると思っています。企業が存続していく意義の一つは社会に貢献し必要とされ、その事業や取引においてお客様に喜んでいただき満足していただくこと。もう一つは社員が会社に誇りを持ち、やり甲斐、働き甲斐を持ってこの会社に勤めて良かったという社員満足、この二つが会社の成長・発展の原動力だ、と思っています。

特に我が社は「自分の会社に誇りを持たず、不平不満を持ち自分の会社に満足していない社員がお客様に満足していただき喜んでいただくことなど絶対にできない」との考えから、社員満足の向上に大きな力を注いでおります。

“小さくともキラリと光る会社”を目指す。そんな想いで日々事業経営に勤しんで、おります。我々中小企業が「働き方改革」社員満足」というテーマを実現していくには、難しい問題・課題が山積していますが、今こそこれらにチャレンジしていくことが成長・発展に繋がるものと確信しております。